



Hosei University

・ 2014年度 ・

学生が選ぶ ベストティーチャー賞

実施報告



法政大学
教育開発支援機構

2014 年度 法政大学
学生が選ぶベストティーチャー賞

ベストって何だ

いよいよ「学生が選ぶベストティーチャー賞」が本格的に始動しました。

「誰がベストか」を選ぶことは、必然的に「ベストって何だ」を考えることを導きます。

「教え方が抜群にうまい」、「話は難しいが、あの必死の形相には引き込まれずにはいられない」、

「議論に完全に納得したわけではないけれど、自分の反論に本気で答えてくれた」

などなど、それぞれの物差し・尺度を研ぎ澄ませてもらうことも、この賞のポイントの一つです。

「応援したいけれど、メジャーな存在にはなってもらいたくない」という微妙な心理が働くことも（もしかしたら）

あるかもしれませんが、ここは「自分が授業で受けた感動を、他の人にも感じ取ってもらいたい」という広い心で、

多くの学生の皆さんが投票してくれることを願っています。法政大学のいたるところに散らばっている

「宝」を発掘し紹介するという気持ちになってもらえれば、と思います。ぜひ、ぜひ！

教育開発支援機構長 文学部教授 中釜 浩一

あなたにとっての一番良い先生は誰ですか？

2014 年度法政大学初「学生が選ぶベストティーチャー賞」は企画・実行委員会及び学生 FD スタッフより企画し、実施を図りました。この「学生が選ぶベストティーチャー賞」は学生の学生による学生・教員のための「理想的な授業をしている先生を選んで表彰する」という今までにないチャレンジです。2014 年 11 月 10 日（月）～21 日（金）の投票期間を終え、市ケ谷（田町校舎を含む）、多摩、小金井の 3 キャンパスから 1,021 件の投票がありました。「学生が選ぶベストティーチャー賞」企画・実行委員会委員及び学生 FD スタッフの学生が、FD 推進センター担当教員の指導のもとに 2014 年 11 月 29 日（土）に選考ミーティングを行い、得票数及び投票理由（コメント）に基づきキャンパスごとの投票数を勘案し、市ケ谷 6 名、多摩 3 名、小金井 2 名のベストティーチャーを選出しました。なお、今回は「学生が選ぶベストティーチャー賞」として合計 11 名の受賞者を選出し、最高票数獲得した先生を最高票数獲得賞として特に表彰することとしました。

選出結果

市ケ谷キャンパス	網野 禎昭	（デザイン工学部教授）	多摩キャンパス	岡崎 昌之	（現代福祉学部教授）
	後藤 一美	（法学部教授）		木下 訓光	（スポーツ健康学部教授）
	鈴木 靖	（国際文化学部教授）		藤代 裕之	（社会学部准教授）
	鈴木 美伸	（総長室特任教員）			
	高田 雅之	（人間環境学部教授）			
	筒井 知彦	（経営学部教授）	小金井キャンパス	斎藤 利通	（理工学部教授）
				善甫 康成	（情報科学部教授）

以上 11 名（キャンパス別アイウエオ順 敬称略）

 最高票数獲得賞 岡崎 昌之

受賞教員一覧

現代福祉学部教授 岡崎 昌之（最高投票数獲得賞）

- 主な担当科目**
まちづくりの思想、地域経営
- 専門分野・研究テーマ**
地域経営論、条件不利地域における地域再生、住民と行政の協働によるまちづくりの推進
- 授業に心がけていること / 工夫**
たんに専門的なことだけでなく、社会的にどんな意味があるか、現状に講義テーマはどう関係し、どう考えるべきかを、常に関連付けながら伝えるようにしました。同時に具体的な現場や事象を扱うことに留意しました。

デザイン工学部教授 網野 禎昭

- 主な担当科目**
木造建築の構法、構法スタジオ、建築材料
- 専門分野・研究テーマ**
建築・木造建築
- 授業に心がけていること / 工夫**
学生の前で図面を描いたり鋸を使ったり、たまに“親方”やっています。自らの経験を盛り込んだ帰納的(?)な授業によって、勉強嫌いでも建築好きな学生を育てたいと思っています。建築は実学ですから。

スポーツ健康学部教授 木下 訓光

- 主な担当科目**
スポーツリスクマネジメント、生活習慣病と身体活動、運動処方・負荷テスト、その他関連実習
- 専門分野・研究テーマ**
スポーツ心臓、アスリートの突然死、女子アスリートの三主徴、生活習慣病の運動療法
- 授業に心がけていること / 工夫**
前回授業の復習→agendaと学習目標の提示→適宜 key point, take-home message を提示、質問機会・時間を設ける→summary→テキスト該当部分の提示による復習指示→次回授業内容の提示による予習指示、という構成ですべての授業を行っています。

法学部教授 後藤 一美

- 主な担当科目**
国際協力論Ⅰ・Ⅱ、グローバル・ガバナンス、国際協力講座、International Development Cooperation、演習（国際開発協力論）、国際協力政策研究Ⅰ・2、JICA 寄付講座、国際協力講座（学部と合同）
- 専門分野・研究テーマ**
開発援助政策論、国際協力論、グローバル・ガバナンスの政策研究
- 授業に心がけていること / 工夫**
教員による一方的講義スタイルではなく、受講者の参加型演習(グループディスカッション、ディベート等)とプレゼンテーション(マイクを通したコメント・意見表明、英語での発表を含む)を随所に設けることにより、受講者の表現能力向上に力点を置いています。

理工学部教授 斎藤 利通

- 主な担当科目**
基礎電気回路、確率統計
- 専門分野・研究テーマ**
ニューラルネットワーク、群知能、カオスと分岐現象、パワーエレクトロニクス
- 授業に心がけていること / 工夫**
基礎を重視し、詰め込みを避け、考える力がつくように、心がけています。特別な工夫ではありませんが、的を絞って大切なことを解説し、その後で板書する時間を与えています。

国際文化学部教授 鈴木 靖

- 主な担当科目**
中国語、中国の文化Ⅲ（日中文化交流史）、中国の文化Ⅸ（俗文学）、言語文化演習（アジアから見た日本）
- 専門分野・研究テーマ**
中国語・中国文学
- 授業に心がけていること / 工夫**
内容面では、毎回何か発見があるような授業にすること。表現面では、文字、画像、映像をシームレスに使い、テレビ番組を見ているようなスタイルにすること。目標は、「私語」を忘れるような授業にすることです。

総長室特任教員 鈴木 美伸

- 主な担当科目**
キャリアデザイン入門、キャリアデザイン演習、就業基礎力養成Ⅰ・2、就業応用力養成Ⅰ・2
- 専門分野・研究テーマ**
大学キャリア教育、ビデオ教材開発、産学連携・連続人材育成、労働者の雇用多様化、日本企業の雇用戦略、大学同窓会のキャリア支援機能等
- 授業に心がけていること / 工夫**
大学授業は立派に社会で通用することを教えています。ビデオ教材を用いた集団討議、毎回の授業リアクションペーパーをチェック&返却して学生の良い意見はクラス全体へフィードバックしてチーム学習しています。

情報科学部教授 善甫 康成

- 主な担当科目**
線形代数（基礎、応用1、応用2）、力学入門（自然科学の基礎）
- 専門分野・研究テーマ**
専門分野：計算物理、大規模並列計算 研究テーマ：光と色
- 授業に心がけていること / 工夫**
授業時間 90 分をフルに使います。基本的な理解度を確認するミニテストにはじまり、要点のみに絞った講義、自主性を意識した演習、予習と復習のための課題を毎回課し、更に自習課題も付け加えています。

人間環境学部教授 高田 雅之

- 主な担当科目**
自然環境科学の基礎（生態学）、自然環境政策論（Ⅰ、Ⅱ）、研究会（ゼミナール）
- 専門分野・研究テーマ**
自然環境保全政策、景観生態学、保全生態学、湿地の保全、生物多様性
- 授業に心がけていること / 工夫**
できるだけ事例や写真・動画を使ってわかり易く話すことと、しばしば問題提起することに努めています。授業の終わりに感想や質問を書いた紙を提出してもらい、翌週に少しでもコメントするよう心がけています。

経営学部教授 筒井 知彦

- 主な担当科目**
会計学入門Ⅰ、国際会計論Ⅰ、財務会計論、会計学入門Ⅱ、国際会計論Ⅱ、演習
- 専門分野・研究テーマ**
財務会計論
- 授業に心がけていること / 工夫**
毎回、出席調査票の受講者のコメントで指摘された点を改善するように心がけています。また、相互授業参観で同僚の先生から講義で工夫されていることを学ばせていただいており、それらも可能な限り実践するよう努めております。

社会学部准教授 藤代 裕之

- 主な担当科目**
情報メディア論 A、ウェブジャーナリズム論、メディア経営論、ウェブジャーナリズム実習
- 専門分野・研究テーマ**
ソーシャルメディア時代のジャーナリズム研究
- 授業に心がけていること / 工夫**
リアクションペーパーで質疑を活性化させたり、グループワークを導入して議論したり、例えば大教室であっても全員が授業に参加していると感じられるように工夫しています。

選出理由（抜粋）

授業内容を分かりやすく伝える工夫

- 難解な用語や理論を学生が分かるような噛みくだき方をしている。講義を通して学生に何を学んで得て欲しいか、という点がクリアであり、メッセージ性があると感じる。
- 授業ごとに明確に教材を区分しており、その教材であるパワーポイントもとてもわかりやすかった。文献などデータや図グラフも適切に挿入しており、また参考動画も多用していて、学生にとってもメリハリがあり理解しやすいつくりになっている。
- 授業内容は毎回の繋がりがありとても面白みがある。また、ゲスト講師の授業もあり飽きず、工夫が凝らしていることをひしひしと伝わる。
- 参加型で様々な意見を聞く機会になり、先生の指導も学術面だけではなく、社会においての必要知識もある。
- 授業内で取り上げる事例がその時のトピックスに合っていて、わかりやすかった。さらに、授業の進め方（プレゼン）が受講生に興味を持たせるように構成されていて一方的ではなかったところがよかった。
- 先生自身の体験などの話も聞けたので、授業内容がより現実的・実践的に感じられた。

授業環境作り、学生との交流への工夫

- 先生は遅刻したり、私語したりする学生には厳しい姿勢を取るが、しっかり学生とコミュニケーションをとりながら、なぜそれがダメなのか、どうあるべきかなど、先生の想いをしっかりと伝えてくれた。熱さがあって、自分はとても授業に身が入ります。
- 講義内容がわかりやすく、教室を回ったりしながら生徒と近い距離で話をしてくださるため非常に聞きやすかった。
- 学生1人1人に対して向き合い、語りかけるような授業。知識もさることながら、ユーモアも交え、1時間半が全く飽きない。
- 生徒の意見を積極的に聞き、それに対して様々な疑問や不足部分を指摘してもらえる。
- 大学生活やこれからの人生をうまく生きるための考え方やコツをたくさん学べたから。リアクションペーパーを通して学生をちゃんと見てフィードバックしてくださるから。
- 毎回の授業でワークシートがあり、それに毎回丁寧にコメントを書いてくれるところ、授業がいつも真剣で、まじめにうけている人をきちんと評価してくれた。授業がない今でも質問などすると丁寧に答えてくれる学生思いのいい先生でした。
- 毎回リアクションペーパーも配布され、良いコメントを書くと次回の講義で取り上げられるので授業に熱が入る。
- 学生の意見も真剣に受け止めてくれて、その上で自由な発想を後押ししてくれる。
- 生活の指導も充実していた。

授業の進め方における工夫

- 先生が教壇に立ち、講義内容について解説するだけでなく、むしろ生徒の意見を重視する双方向授業を全面に取り入れた講義の展開に、自らの自主性に磨きがかかったと共に自身の知的好奇心を満たす事が出来た。
- ところどころ問題の形式で投げかけてくるので飽きさせない工夫もしてある。
- 出席している学生の反応を見て授業の内容や速度を調整したり、成績や授業の進め方、試験の方式について事前に説明したりするなど、とても丁寧に授業を進めていた。何回かに1度感想や質問を集めて、回答し、授業全体のまとめをして頂けたため、より理解を深めることができた。
- 比較的大人数の授業の中で、生徒にマイクでの発言を求めたり、プレゼンテーションをさせたりするなど、大学の授業における典型的な講義型の授業とは異なり、社会に出て必要なスキルが授業を通して身につけることができるから。
- 学生にマイクを渡し、発言の機会を与えることによって、学生の自主性と創造性を高める訓練を授業内で実践されている。

その他の工夫

予習復習における工夫

- 授業ごとにミニテストの実施を通じて学生の理解度を確認し、かつ学生の誤解しやすい場所を確認している。
- 毎回の課題に次の授業の予習事項を含ませることにより、授業の重要内容が確認でき、授業の理解を促している。
- 学生に問題を積極的に解かせるよう、前に出での発表や問題の早解きレースを授業内で実施している。
- 生徒に考える機会を多く与えて下さったため、授業の後も自主的に学習するきっかけとなった。

授業目標・成績評価の明示、試験問題への工夫

- テストが授業での全学習事項を万遍なく利用する問題構成であり、正しい理解がないと解答できないようになっているところ、そして成績の評価法が、明確に示されているところが良かった。

※こちらの選出理由は基本的に投票した学生のコメントをそのまま掲載していますが、適宜修正を加えています。

受賞教員のメッセージ



現代福祉学部教授
岡崎 昌之
(最高投票数獲得賞)

毎回リアクションP.提出、私語注意、資料持込無しでの記述式試験といった比較的厳しい講義、また基礎ゼミ、専門演習でもレポート提出重視ですが、それにも拘らず、評価していただいたことに意外性を感じています。



デザイン工学部教授
網野 禎昭

自分でも厳しい教員だと思います。やる気のある学生が投票してくださったのベストティーチャーなのでしょうけど、怠けたい学生が投票したらワーストティーチャーにも選ばれるんだらうな。



スポーツ健康学部教授
木下 訓光

驚きましたが、励みにしたいと思います。



法学部教授
後藤 一美

「第1回」の受賞というところが、正直、うれしい。「学生が選ぶ」という選考方法での受賞というところが、正直、ほまれです。「定年間近」の受賞というところが、正直、にくいです。教員が「ベストティーチャー」なら、受講生も「ベストチューデント」。これからも、いっしょに、ますます精進しましょう！



理工学部教授
斎藤 利通

講義中に厳しいことも言いましたが、その主旨を解ってくれた学生もいたようで安心しました。これからも厳しくします。



国際文化学部教授
鈴木 靖

学生みなさんからこうした賞をいただいて、「もっと良い授業をしるよ」と叱咤激励された気分です。「受講してよかった」と思っていただけよう、これからも内容の充実と表現の工夫に努めたいと思います。



総長室特任教員
鈴木 美伸

この受賞は本当に学生や職員とのチームワークの成果です。一昨年、受講学生に「日本一良い授業をやりたい!」と宣言してきたので、ちょっとだけ近づいた気分です。一緒に頑張ってくれた皆様に心より感謝しています。



情報科学部教授
善甫 康成

私としてはかなり厳しめの授業を行っているので、なぜ選ばれたのか不思議です。一限の授業が好きですし、遅刻する者には容赦なく注意しますが、最初に示した基準通りに評価をすることが好まれた理由かも知れません。



人間環境学部教授
高田 雅之

予期せぬ驚きとともに、お恥ずかしい気持ちで一杯です。着任後に講義について多くのアドバイスを下さった学部の諸先生と、受講してくれている学生の皆さんに心から感謝しています。今後ともご批判をいただければ幸いです。



経営学部教授
筒井 知彦

ありがたいと思う一方、身の引き締まる思いでいっぱいです。更に研鑽を積み重ねなければならないと考えております。



社会学部准教授
藤代 裕之

たくさんの魅力的な先生の中から選んで頂きありがとうございました。学生と一体となる学びの瞬間を目指して、これからも一つ一つの授業を大切に進めていきたいと思っています。

学生FDスタッフの活動

学生FDスタッフ
担当教員からのメッセージ



教育開発支援機構 FD推進センター
推進プロジェクト・リーダー、学生FDスタッフ担当教員
理工学部教授 川上 忠重

2014 年度から「学生が選ぶベストティーチャー賞」がはじまりました。学生の思いを伝えるベストティーチャーの姿は、一人の教員としても大変興味深いところであることは、言うまでもありません。本学での初めての全学的な取り組みであり、目的、広報、選考、投票及び表彰式等の検討事項を、1つ1つ学生FDスタッフを中心に、学生・職員・教員が協力しながら楽しく出来たことにより、学生FDスタッフ自身もキャンパス・学部を超えて、多くの貴重な経験を実感したと思います。

本取組みが、今後、学内のFD活動をはじめとする「教育の質」向上の一助となり、そのフィードバックが成果として学生に反映されることを切に願っています。

引き続きご協力宜しくお願いします！

3キャンパスでの広報活動

2014年11月10日(月)～21日(金)の投票期間中に、学生FDスタッフが助っ人えこびょん(法政大学公式キャラクター)と一緒に市ケ谷(田町校舎を含む)、多摩、小金井の3キャンパスで広報活動を行いました。



選考会

2014年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」の選出は、学生スタッフ8名が、FD推進センター担当教員の指導のもとに2014年11月29日(土)に選考会を行って決定しました。



表彰式・座談会

2014年12月25日(木)に、市ケ谷キャンパスポアソナード・タワー25階A会議室にて、「学生が選ぶベストティーチャー賞」表彰式を開催しました。学生FDスタッフは学生を代表し、受賞教員に表彰状を贈呈しました。最高票数獲得賞の岡崎昌之先生には、田中優子総長より表彰状を贈呈し、受賞の感想を述べていただきました。また、今回の実施に関わっていた学生、そして受賞教員に関して、田中優子総長より絶賛の

お言葉をいただきました。



祝賀会後は、会場を移し、「良い先生とはどのような先生なのか」をテーマに、受賞教員と学生FDスタッフの座談会を行いました。座談会のはじめに、学生FDスタッフの綿林夕夏さんより「学生が選ぶベストティーチャー賞」を作り上げてきた経緯を紹介し、受賞教員は「初回の実施で選ばれてうれしかった」と喜んでいました。その後、学生・教員の目線からそれぞれにとっての良い教員像について、意見交換を行い、受賞教員の皆さんにぜひ今後も授業改善等でご協力いただきたいと学生FDスタッフからのお願いがあり、座談会の幕がおりました。



学生FDスタッフ紹介

文学部 大橋 浩平

学生FDスタッフへの参加のきっかけは、「授業について考える」ことに興味を持ったからです。大学の授業は高校の授業と違って、自由に選べることができます。授業の数も多く、担当先生のやり方もそれぞれ異なります。その数多く授業の中で「良い授業とは何か」を考えてみたいと思いました。いろんな学部の先生方から様々な意見をいただき、勉強になりましたし、他大学の学生・教職員と交流することによって、新たな発見ができ、自分を成長させることができたと思います。

「学生が選ぶベストティーチャー賞」は2014年度に初めて実施しました。印象に残ったことは、予想以上にたくさんの学生が投票してくれたことです。これは、私達学生FDスタッフが宣伝活動に力を入れている工夫を行ったことに関係があると思います。この企画で、自分自身のものごとを実行する力が成長できたのではないかと考えます。2015年度の実施では、学生だけでなく教員の中での認知度も高めていきたいと思っています。



経営学部 斉藤 茜

大学の授業は高校の授業とは違い、自由に授業を選び、受けることができます。その授業の中には私語がなく1週間の楽しみとなるような素晴らしい授業がある一方、授業中に私語をして他人に迷惑をかける人がいる授業があり、もっと大学・授業が良くなれば良いのと思っています。そんな中「学生が選ぶベストティーチャー賞」のスタッフ募集のポスターが目に入りました。多くの人が授業について考えるきっかけを作れ、自分でも考えることができるのではないかと思います。学生FDスタッフになりました。

「学生が選ぶベストティーチャー賞」は大学にとっても私たち学生FDスタッフにとっても初めてのことであり、すべてが手探り状態でした。「良い先生」「いい授業」とはなにかを考えることから始まり、3キャンパスへの広報活動、選考会、表彰式を行い、そしてこの冊子の作成に至りました。活動をする中で多くの学部生や教職員の方と関わり、自分の考えをより深め、実行することができました。今年度は昨年の経験を生かし、さらに多くの学生、教員の方に授業や大学について考えてもらえる機会を広げながら、活動をしていきたいと思っています。



経営学部 林 大気

学生FDスタッフに入ったきっかけは、大学に入學してなかなか自分のやりたいことが見つからずに悩んでいた時、ゼミの先生に学生FDを勧められたことを機に3年生から活動を始めました。

昨年度実施した「学生が選ぶベストティーチャー賞」は本学での初の実施であり、企画・実施は全部0からスタートしました。学生スタッフの数が少なかったですが、3キャンパスに渡る約2万7千人の学生に周知し、投票して頂くことにあらゆる方法を試して、目標票数に達することができました。表彰式に総長もいらしゃり、大変緊張しました。そのような経験を積むことで自分が少しずつ成長していくのが実感できましたし、他の学生スタッフや教職員と力合わせて1つの目標に突き進む楽しさを学ぶことができました。

今年度は4年生になり、学生としても、学生FDスタッフとしても、最後の年度になりますし、就職活動もあり、3年生の時よりさらに大変かもしれませんが、最後の年だからこそ、母校のために活動していきたいと思っています。



文学部 深澤 郁乃

大学に入って、授業を受けて知識を得ることだけが「学ぶ」ことではないと知りました。授業以外の活動や、自分の研究分野と全く違う講座などで、沢山のことを「インプット」させてもらったので、今度は「アウトプット」をする側になってみたいと思ったのが学生FDスタッフに参加するきっかけでした。活動の中で、自分の苦手なことにも向き合わねばならなくなりました。人前ではっきり喋ることや、筋道だった主張をすることなど、最初は苦手で大変だと感じたこともありましたが、逃げずに向き合えたからこそ克服することができました。また、出身学部以外の学生、教職員の方はもちろん、他大学の学生、教職員との交流も多く、貴重な経験を得ることもできました。これからも頑張っていきたいと思っています。

2014年度の「学生が選ぶベストティーチャー賞」に投票してくださった学生をはじめ、全学生そして先生方へのフィードバックをこれから行ないたいと思います。年々の実施を通じて、良い先生・授業を紹介し、法政大学の授業質の向上に繋がり、周りの人々に授業改善を実感してもらうことを目標にしていきたいと思っています。



文学部 山澤 良乃

学生の目線はどうしたら大学・授業がもっと良くなるのかを常に考えて、そしてその考え・企画が実現できることが魅力的だと思い、学生FDスタッフに参加しました。他のスタッフより遅れての参加でしたが、少しでも自分の意見や行動で、授業をより良く改善していくことが出来るように頑張っていきたいと思っています。

大学に入って、ものすごく素敵な授業と出会いしました。こんな良い授業があるのに、もっとたくさんの人に知ってもらわないともったいないと思い、そして、自分も知らない良い先生・授業の情報も共有できたらと思いまして、「学生が選ぶベストティーチャー賞」の学生スタッフに参加しました。私の受けた素敵な授業を教えている先生も今回選ばれたので、本当に心からうれしく思います。学生が意欲的に学びたい授業や、充実した4年間大学生生活を送るに必要なことについて、これからも活動しながら、考えていきたいです。



ありがとう！



左記のほかに、2014年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」で活躍した以下の学生FDスタッフに、この場を借りまして心よりお礼申し上げます。

猪狩 まどか(法学部)
池谷 麻依(キャリアデザイン学部)
野澤 真治(国際文化学部)
平山 芳男(人間環境学部)
綿林 夕夏(キャリアデザイン学部)



今年度もみんなに
会いに行きたいピョン!



2015年度も
「学生が選ぶベストティーチャー賞」
を実施します!

受けてよかった
授業を
ぜひ他の人に
教えましょう!

あなたにとっての
良い先生に
ぜひ投票して
ください!

私たちの
「ベストティーチャー」
を選出しましょう!

先生への感謝を
投票に込めて!

学生企画・
実行スタッフは
随時募集して
おります。

• 発行 •

法政大学教育開発支援機構FD推進センター

東京都千代田区富士見 2-17-1

E-mail: fd-jimu@hosei.ac.jp

TEL: 03-3264-9040